

令和2年度第3回 小松市地域交通活性化協議会会議録

○日 時：令和2年12月24日（木）14:00～15:30

○場 所：小松市民センター小ホール

○出席者：

区分	職名	氏名	備考	出欠
住民又は 利用者の代表	小松商工会議所 空港・都市政策委員会委員長	今出 真稔		×
	小松市町内会連合会会計	北川 潔	監事	○
	小松市老人クラブ連合会会長	餘助 幸一		○
	小松市校下女性協議会会長	大木 淑子	代理出席	○
	加賀地区高等学校校長会会長	室 陽子		○
	小松市障害者自立支援協議会事務局	鈴木 淑		○
国及び県の関係 行政機関の職員	国土交通省北陸信越運輸局 交通企画課長	佐々木 凜太郎		○
	国土交通省北陸信越運輸局 石川運輸支局 首席運輸企画専門官	木村 幸典		○
	石川県新幹線・交通対策監室交通政策課 課長補佐	山崎 泰輝	代理出席	○
	石川県南加賀土木総合事務所 維持管理課長	野口 真		○
	石川県小松警察署 交通課長	福田 博		○
旅客自動車運送 事業者及びその 関係団体の職員	小松バス(株)取締役社長	新谷 良二		○
	加賀白山バス(株)代表取締役社長	田口 成樹		×
	日本海観光バス(株)総務部長	西出 揮一郎		○
	小松地区タクシー協会会長	道端 隆一		○
旅客自動車運送 事業者の事業用 自動車の運転者 が組織する団体	小松バス労働組合 執行委員長	藪谷 清志		×
市職員	小松市副市長	竹村 信一	会長	○
	小松市都市創造部長	石田 賢司		○
	小松市教育委員会教育次長	吉田 和広		○
市長が必要と 認める者	公立小松大学 国際文化交流学部准教授	中子 富貴子	副会長	×
	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社交通企画室長	鹿野 剛史		○
	日野自動車(株) 商業 CASE 推進部執行職	松山 耕輔		×
	石川県レンタカー協会 常務理事	野村 光洋		×
	(一社)こまつ観光物産ネットワーク 専務理事兼事務局長	吉田 達也		○

区分	職名	氏名	備考	出欠
事務局	小松市参与	早松 利夫		○
	小松市市民共創部長	前多 陽子		○
	小松市はつらつ協働課課長	藤本 圭志		○
	小松市はつらつ協働課担当課長	津田 直宏		○
	小松市はつらつ協働課主幹	西本 達郎		○
	小松市はつらつ協働課事務員	渡辺 雄也		○

### ○会議次第

1. 開会挨拶 会長 竹村 信一
2. 協議事項
  - (1) 市内循環線のダイヤ改正について
  - (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
  - (3) (仮称) こまつ地域交通プランの策定について
    - ①関係機関ヒアリング調査について
    - ②地域交通の問題点・課題について
    - ③地域交通プランの基本方針について
    - ④目標を達成するために行う事業及び実施主体について
3. その他

### 【会議録】

#### 1. 開会挨拶

事務局：ただ今から、令和2年度第3回小松市地域交通活性化協議会を開催致します。

本日はご多用のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。開会にあたりまして、竹村会長よりご挨拶をいただきます。

会 長：(挨拶)

事務局：本日、24名中18名の委員の皆様にご出席いただいております。規約第8条第2項により、会議が成立していることをご報告致します。それでは規約により、会長が本会議の会長となり、会議を総理する事となっておりますので、以降の進行につきましては会長にお願いしたいと思います。竹村会長、よろしくお願い致します。

#### 2. 協議事項

- (1) 市内循環線のダイヤ改正について
- (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- (3) (仮称) こまつ地域交通プランの策定について
  - ①関係機関ヒアリング調査について
  - ②地域交通の問題点・課題について

③地域交通プランの基本方針について

④目標を達成するために行う事業及び実施主体について

会 長：まず（１）市内循環線のダイヤ改正について及び（２）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、事務局より説明をお願い致します。

事務局：（説明）

会 長：ただ今の事務局の説明に対して、何かご質問等ございましたらお願いします。

鹿 野：西日本旅客鉄道の鹿野です。今回の市内循環線のダイヤ改正によって、7時45分小松駅発の便を7時40分発に変更するという事でした。現状、小松駅に金沢方面から7時39分、加賀方面から7時41分に各々電車が到着しますが、これらの電車との接続が難しくなるという点を承知した上でのダイヤ改正ということでしょうか。例えば明峰高校の生徒は基本的に普通電車で明峰駅まで移動するため、今回のダイヤ改正の影響はほとんどないと思われませんが、この接続を重視している利用者に対する影響については懸念があります。

事務局：ダイヤ改正後の7時40分発のバスとの接続につきましては、金沢方面からは7時22分、加賀方面からは7時32分に各々小松駅着の電車がありますので、これらの便を利用すれば、7時40分小松駅発のバスとの接続は可能であると考えております。

会 長：ありがとうございました。他にご意見、ご質問はありませんか。特にないようですので、（３）（仮称）こまつ地域交通プランの策定について、①関係機関ヒアリング調査について、及び②地域交通の問題点・課題について説明をお願いします。

事務局：（説明）

会 長：それではただ今の説明に対し、何かご意見、ご質問はありませんか。特にないようですので、続いて③地域交通プランの基本方針について及び④目標を達成するために行う事業及び実施主体について説明をお願いします。

佐々木：国土交通省の佐々木です。計画の策定、お疲れ様です。まず前提について確認ですが、「（仮称）小松市地域交通プラン」（以下「プラン」と記載）の142ページに事業及び実施主体一覧ということで記載されているのですが、これがさらに具体化されていくという理解でよいでしょうか。つまり、現在一覧として示されている事業が今後具体的にどのように行われるのかについて、例えば第4回協議会において示されるのでしょうか。

事務局：まず今後のスケジュールについてですが、第4回協議会前にパブリックコメントを実施する予定です。パブリックコメントの段階ではこれまでの3回の協議会でいただいたご

意見等を反映させたものを提示します。そして、第4回協議会ではパブリックコメントも踏まえたプランをお示ししたいと思います。従って、ただ今ご質問のありました目標を達成するための事業及び事業主体につきましては、プラン上は今回提示した内容で記載したいと考えております。

佐々木：今回策定する「小松市交通プラン」は法律上「地域公共交通計画」と位置付けられるものですが、いずれにせよ計画である以上、何を行うかが大切です。今回のプランでいうと「7. 地域交通の問題点・課題」、「8. 地域交通プランの基本方針」、「9. 目標を達成するために行う事業及び実施主体」が重要であると思われます。これまでアンケート等様々な調査等を行い、現状の把握を行ったことに対し、「9. 目標を達成するために行う事業及び実施主体」の部分が抽象的過ぎるかと思われます。恐らく他の自治体の計画も参考にしたものと思われませんが、もう少し各事業について具体的にどのようなことを行うのかを記載した計画が一般的かと思えます。

例えばコミュニティバスの利便性向上という施策に対し、事業内容として循環線のルートや運行内容の見直しが記載されていますが、もう少し具体的に記載しなければ市民としてもコメントのしようがないものと思われれます。運行内容を見直すにしても、見直しの内容によっては賛否が分かれるものもあるかと思われれます。また、路線バスの運行効率化についても人によって捉え方が異なり、路線短縮と考える人もいれば、効率化に伴う増便と考える人がいるかもしれないので、やはり具体的にどのようなことを行うのかを記載する必要があると思われれます。

まだパブリックコメントまで時間があるということなので、各事業をもう少し深掘してもらいたいと思えます。そうでないと、これまでの調査結果が活かしきれないように思えます。プランの142ページにまとめた施策や事業について、何故その施策が必要と考えたのか、その背景を記載してもらいたいと思えます。そうするとよい計画になるものと思えます。

これとは別に、プラン141ページの目標値について、例えば地域交通利用者数については、令和7年度の利用者数を未来技術社会実装事業の目標値を基に算定しているとのことですが、未来技術社会実装事業の目標値はどのように算出されたのでしょうか。地域交通利用者数以外の目標値についても、どのような考え方によって算出された値なのかは示した方がよいと思われれます。

もう1点、プラン137ページの白山市のヒアリング結果iの第1項が、新駅設置のために地域公共交通網形成計画を策定したと読めてしまい、行政が出す文書としては適当ではないように思われれます。

事務局：白山市のヒアリング結果については修正文を検討致します。また、プラン142ページの事業の内容については、担当部署に確認した上で、今後ご指導いただきながら修正し、改めてお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

佐々木：もう1点、プラン142ページの空港線の利用者を2.6倍にするという点について、この目標の達成のためには運行便数を増やす等の措置を行うと思われれますが、この場合、支

出も増加すると考えられますので、その点も併せて検証してもらえたらと思います。

会 長：ありがとうございました。他に質問等はありませんか。特にないようですので、何か報告事項等がありますか。

先ほど、未来技術社会実装事業に触れられましたが、自動運転サービス導入支援事業の指定を受けました。今後は中山間地でも実証実験を行えればと考えておりますので、皆様方のご意見等をいただければと思います。

本日は深長な審議をありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、令和2年度第3回小松市地域交通活性化協議会を終了致します。